

# 新着案内

NO. 1  
2020年7月  
伊丹西高校図書館

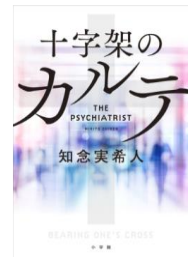


## 『クスの番人』(東野 圭吾)

その木に祈れば、願いが叶うと言われているクスノキ。その番人を任された青年と、クスノキのもとへ祈念に訪れる人々の織りなす物語。

## 『十字架のカルテ THE PSYCHIATRIST』(知念 実希人)

正確な鑑定のためにはあらゆる手を尽くす。日本有数の精神鑑定医・影山司の助手に志願した新人医師・弓削凜は、犯罪者の心の闇に対峙していく。究極の頭脳戦の果てに、影山が見据える未来とは。また、凜が精神鑑定を学ばねばならない理由とは。



## 『逆ソクラテス』(伊坂 幸太郎)

逆転劇なるか!? カンニングから始まったその作戦は、クラスメイトを巻き込み、思いもよらぬ結末を迎える。書き下ろしを含む、短編全5編を収録。

## 『あの日の交換日記』(辻堂 ゆめ)

交換日記、全部読みました。そして、思い出しました。嘘、殺人予告、そして告白。さまざまな立場のふたりが紡ぐ7篇の日記が謎を呼び、そしてある真相へ繋がっていく。驚くべき仕掛けとその後の感動が綴られたミステリー。



## 『アーモンド』(ソン・ウォンピョン著/矢島 暁子訳)

【第10回チャンピオン青少年文学賞受賞】

【2020年本屋大賞翻訳小説部門受賞】

アーモンド(扁桃腺)が人より小さく、怒りや恐怖を感じる事ができないユンジェ。彼の前にもうひとりの“怪物”が現れた。他人の感情がわからない少年と、物心もつかないうちに親とはぐれた不良少年、2人の成長物語。



## 『暴虎の牙』(柚月 裕子)

平成16年、懲役刑を受けて出所した沖が暴走を始めた矢先、かつて大上の薫陶を受けた呉原東署の刑事・日岡が沖に接近する。「孤狼の血」シリーズ完結編。学芸通信社の配信により『岩手日報』等に掲載されたものを単行本化。



## 『流浪の月』(凧良 ゆう)

【2020年本屋大賞受賞】

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。

## 『店長がバカすぎて』(早見 和真)

谷原京子、契約社員、時給998円。店長が、小説家が、弊社の社長が、営業がバカすぎて「マジ辞めてやる!」。本を愛する書店員の物語。『ランティエ』連載を加筆し書籍化。



## 『むかしむかしあるところに、死体がありました。』(青柳 碧人)

お姫様を鬼から守った一寸法師。打ち出の小槌で大きくなった彼は、ある計画を心に秘めていた。「一寸法師の不在証明」をはじめ、日本の昔ばなしを、密室などミステリーのテーマで読み解く作品集。『小説推理』掲載を書籍化。



## 『当たりすぎてつい眠れなくなる心理テスト 大事なこと全部!自分もあの人も見抜ける50問』(中嶋 真澄)

ふだんは眠っている“本当の性格”、ケチ度、頑固度、ナルシスト度、モテ期、運命の相手。「なにげない」ことからすべてが読めてしまう、心理テスト50問を収録。



## 『カケラ』(湊 かなえ)

あの子は死んだ。大量のドーナツに囲まれて。他人の視線と自分の理想。少女の心を追いつめたものとは? 「美容整形」をテーマに、容姿をめぐる固定観念をあぶりだす心理ミステリー。

## 『濱地健三郎の幽たる事件簿』(有栖川 有栖)

探偵・濱地健三郎には鋭い推理力と幽霊を見る能力がある。ミステリー研究会の部室で頻発する奇妙な現象、良き父親を襲う不可思議な発作。これは怪異かトリックか? 異才の名探偵・濱地健三郎の事件簿第2弾。7篇を収録。



## 『てんげんつう(「しゃばけ」シリーズ)』(畠中 恵)

若だんなと妖たちが、不幸のどん底に!? 於りんと、兄やの仁吉も剣呑なことに巻き込まれる。若だんなは大事な人たちを守るのか。「しゃばけ」シリーズ第18弾。

## 『丸の内就職したら、幽霊物件担当でした。7』(竹村 優希)

幽霊物件の調査と再生を業務とする若手社員の滯。ある日、世界的ホテルチェーンの御曹司リアムの仕事が舞い込む。丸の内に「本物の霊を売りにするホテル」をオープンしたいというのだ。滯たちは、候補物件の調査に向かう。



## 『薬屋のひとりごと 9』(日向 夏)

口外できない怪我を負った壬氏のために、秘密裏に通う猫猫。できる範囲で治療を施すが、医官付き官女という曖昧な立場に悩まされる。猫猫は羅門に医術の教えを乞おうと決める。

『銀の匙 VOLUME15』(荒川 弘)『宇宙兄弟 37』(小山 宙哉)『赤髪の白雪姫 22』(あきづき 空太)『弱虫ペダル 65』(渡辺 航)

※ 皆さんからのリクエストを受け付けています!



# 新着案内

NO. 1  
2020年7月  
伊丹西高校図書館

## ～社会科学～



『なぜ僕らは働くのか 君が幸せになるために考えてほしい大切なこと』(佳奈)  
仕事ってなんだ? どうやって働く? 働くことの意味、生活にかかるお金、勉強することの意味、やりたいことの見つけ方などを、マンガを豊富に交えてわかりやすく解説する。

## 『池上彰の世界の見方 15歳に語る現代世界の最前線』(池上 彰)

池上彰が選んだ6つのテーマ(地図、お金、宗教、資源、文化、情報)で、多様な世界のことを、これから生きる若者たちに伝える。東京の九段中等教育学校で行った授業をもとに、その後のニュースを加筆して書籍化。



センスは知識から始まる  
水野学

『センスは知識からはじまる』(水野 学)  
センスとは、さまざまな知識を蓄積することにより「物事を最適化する能力」であり、誰もが等しく持っている。話題のクリエイティブディレクターが、今、最も求められているスキルであるセンスを磨くために必要な手法を伝える。

## ～自然科学～

## 『3時間でわかる物理 中学・高校の物理が楽しくわかる!』(Newton ライト)

「ものの動き」「気体のふるまい」「波の性質」「電気と磁気の関係」「原子と光の正体」という5つのテーマを取り上げ、様々な自然現象がどのようにおきているかをやさしく解説する。物理の基本的な知識が身につく書。



## 『3時間でわかる化学 中学・高校の化学がすぐにわかる!』(Newton ライト)

物質をつくる原子の話から、化学の“ガイドマップ”である周期表と元素の特徴、化学結合や化学反応、炭素が主役の有機化学までをやさしく説明する。化学が好きになるビジュアル読本。



## 『筋肉のきほん 筋肉をつけて健康的な体を手に入れよう!』(Newton ライト)

筋肉をつけると寿命がのびる? 筋肉のタイプは生まれつき? 理想の筋トレ方法は? 筋肉の科学的な知識はもちろん、自宅でできて初心者でも安心してはじめられる筋トレの方法も紹介します。

## ～読書感想文課題図書～



## 『キャバとゲルダ ふたりの戦場カメラマン』(マーク・アロンソン著/原田 勝訳)

激動の1930年代、スペイン内戦を世界に伝えた2人のカメラマン、ロバート・キャバとゲルダ・タロー。夢と理想に燃え、カメラを武器に革命に身を投じた、若き2人の青春の物語。

## 『廉太郎ノオト』(谷津 矢車)

頭のなかに、いつも鳴り響いている音がある。廉太郎は東京音楽学校で才能を開花させ、新しい時代の音楽を夢みる。歴史小説の俊英が描く、夭折の天才音楽家・瀧廉太郎の青春物語。



## 『フラミンゴボーイ』(マイケル・モーパーゴ著/杉田 七重訳)

ナチスが侵攻してきたフランスで、何が起きたのか。フランスの南部、フラミンゴの生息地カマルグを舞台にした、フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年とロマの少女の切ないけれど優しい物語。

## ～言語～



## 『好きなものを「推す」だけ。共感される文章術』(Jini)

「推し」とは、何かが好きだと発信することを指すネットスラング。本当に好きなものを推して2500万PVを獲得し、仕事の依頼も絶えなくなったトップブロガーの全スキルを公開。営業、プレゼン、SNSに効く、推す文章術。

## 『英熟語図鑑』(清水 建二)

使える英語が掛け算で増えていく魔法の英熟語集。動詞や前置詞・副詞、さらにそれらの組み合わせが何を表すかを、直感的に理解できるイラストで学ぶ。関連語句や例文も掲載。音声ダウンロード付。「語源図鑑シリーズ」姉妹編。



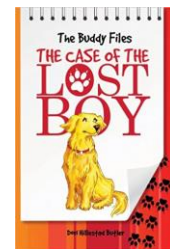
## ～キミも英語多読に挑戦しよう!～

### ★多読とは?

やさしすぎるくらいの本から始めて、読む楽しさを味わいながら、とにかくたくさん本を読むことで、英文が読めるようになります。ゆっくりでもいいので、すこしずつ始めていきましょう。

## 『The Case of the Lost Boy (The Buddy Files)』(Dori Hillestad Butler)

【エドガー賞(児童文学部門)受賞】  
飼い主一家が突然行方不明に?!  
イヌのBuddyは新しい飼い主Connorに引き取られる。前の飼い主の行方を捜そうとするが、その前にConnorが行方不明になってしまう。



## 『The Case of the Mixed-Up Mutts (The Buddy Files)』(Dori Hillestad Butler)

シリーズ第二弾。  
イヌの名探偵Buddyは引き続き、前の飼い主を捜そうとするが、その前にまた新たな事件が発生?!  
シリーズは全部で6冊。犬好きな人におすすめです。

